

の校庭のこれから ~芝生を通した学校での取組~

杉並区立杉並和泉学園

児童・生徒数：966名（令和元年5月1日現在）

芝生化面積：2,784m²

芝生完成年度：平成27年度

芝生を通した交流で児童・生徒の成長
や教育機会の多様化を目指す

杉並区立杉並和泉学園

田中 稔 学園長



校庭芝生化のスタート

我が校は、平成27年度に二つの小学校と一つの中学校を統合し、杉並区初の施設一体型小中一貫教育校として開校しました。

中学校の部活動などにも活用できるよう、芝生と土が半分ずつのグラウンドに設計しました。既に芝生化されていた旧和泉小学校の芝生管理団体（GP）の協力を引き継いだこともあり、新校庭の芝生化はスムーズに進めることができました。



学校での取組

芝生管理サポート団体（芝生サポーター）の力を借りて、芝刈り研修会を実施し、管理知識を共有しています。また冬期には芝を霜から守るために芝の上にシートを敷き、その上で遊んでもらうよう配慮しています。子供たちの体力作りのためのアクティビティ「ランランくるくるタイム」や、縦割り班交流給食、地域が主催する夏祭りや校庭キャンプの開催など、多様な行事やイベントに活用しています。

芝生は運動や遊び以外にも作業学習、環境教育の場にもなっています。転倒や土の汚れを意識しなくなると、遊びの自由度が高まり、子供同士の距離も近くなっているように感じます。

子供と地域の輪を生む芝生のこれから

お子さんが卒業してもサポーターとして芝生の管理に携わってくださる親御さんも多くいます。保護者のみならず地域の大人が、主体的に芝生や子供たちを支えていく体制があるのは頼もしいことです。

ここで遊んだ児童・生徒が大人になり、また芝生を守りに帰ってくるような循環が生まれてくれば、これほど嬉しいことはないと思います。

